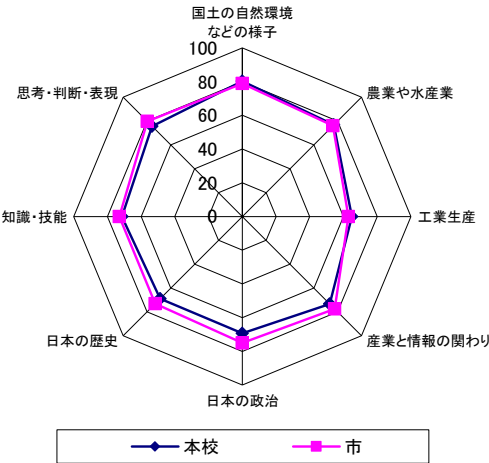


宇都宮市立御幸小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	80.3	78.9	75.4
	農業や水産業	76.8	76.1	71.2
	工業生産	65.0	62.9	59.4
	産業と情報の関わり	73.4	77.6	59.7
	日本の政治	69.3	75.0	79.3
	日本の歴史	69.0	73.1	72.8
観点別	知識・技能	71.4	73.0	71.4
	思考・判断・表現	75.6	79.8	71.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	平均正答率は80.3%で、市平均より1.4ポイント高い。 ○領域全体のほとんどの設問で、市の平均を上回っている。 ●日本の主な地形の名称と位置をもとに、地図を読み取る設問において、市の平均を下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・日常的に地図帳を活用し、日本の主な地形の名称や位置を確認する習慣をつけ、内容と関連付けて学習することで興味や関心を高めていく。
農業や水産業	平均正答率は76.8%で、市平均より0.8ポイント高い。 ○都道府県の位置と、米の生産量について白地図にまとめる設問について、市の平均を9.2ポイント上回っている。 ●複数の資料に注目し、魚の流通にかかる費用について捉える設問において、市の平均を大きく下回った。	・魚の流通や、それにかかる費用について様々な資料を比較するなどの経験を通して定着を図る。また、年度によってどのように変化をしているのかなどについても、理由や原因と関連付けて学習していくことで関心を高めていく。
工業生産	平均正答率は65%で、市平均より2.1ポイント高い。 ○大工場と小工場について資料を読み取る設問では、市の平均を5.4ポイント上回っている。 ●自動車工場の作業工程についての設問において、市の平均を下回っている。	・一人一台端末を活用した、自動車工場の作業工程の映像資料の活用や、ワークシートなどを用いて関心を高め、学習内容の定着を図る。
産業と情報の関わり	○インターネットを利用するときの注意点についての設問において、市の平均を下回っているものの平均正答率が約85ポイントと8割を超える結果となっている。 ●領域全体の正答率は、市の平均を下回っている。 ●コンビニエンスストアのポイントカードの利点について考え、表現する設問では、市の平均を下回っている。	・内容を自分事として関心をもつことができるよう、身の回りの事象を例として取り上げたり、実際に自分たちが利用している施設や機器を例に挙げたりすることで、興味をもって学習に取り組むことができるよう工夫を図る。
日本の政治	○非核三原則についての設問において、市の平均を7.4ポイントと大きく上回っている。 ●国会の仕組みについての設問において、市の平均を大きく下回っている。 ●日本国憲法の三原則についての設問において、市の平均を大きく下回っている。	・学習内容を自身の生活と結び付けて考えることができる教材を用い、理解を深めるようにする。自分事として捉え、興味をもって学習ができるよう、時事的な話題を学習に取り入れ関心を高める指導の工夫をしていく。
日本の歴史	○室町時代の文化についての設問において、市の平均を2.8ポイント上回っている。 ○飛鳥時代の出来事についての設問において、市の平均を下回っているものの、ほぼ同等となっている。 ●武家諸法度についての設問において、市の平均を下回っており、平均正答率も41.8ポイントと低い。	・各時代の代表的な人物だけでなく、出来事や文化、行事などにも着目し、それらの関連やその背景について総合的に考えられる力の育成を図る。